

Bd療法(BOR+DEX)

	Day1	2	4	5	8	9	14	15	21
生理食塩液 + ベルケイド® 1.3mg/m ² 皮下注射	↓		↓		↓		↓		
レナデックス 20mg (4mgを5錠) 1日1回 朝食後	●	●	●	●	●	●	●	●	

1サイクル21日

※年齢などよりBOR
を週1回など変更す
ることあり。

適応: 多発性骨髄腫

・副作用

骨髄抑制、感染症、末梢神経障害、肺障害・心障害、高尿酸血症、発熱等

副作用

- ・骨髄抑制について

骨髄腫による血球低下に加え、薬剤の副作用により重篤な骨髄抑制を発症する可能性がある。さらにステロイドも高用量を併用しているため、感染症につながるリスクが高い。

→発熱は1日2回測定するよう指導あり

- 感染症予防

- ・带状疱疹 アスクロビルDS

- ・ニューモシスチス肺炎 バクタ®

副作用

- ・末梢神経障害

静脈内投与→皮下注射とすることで軽減ありと報告があるが、長期治療となる患者では高頻度に発現する。確立された治療法はない。

- ・高尿酸血症

腫瘍崩壊症候群に伴う高尿酸血症の発現リスクがあるため、フェブキソスタットを予防投与することが多い。また、水分を多くとるよう指導行う。